

平成26年度町民の参画と協働事業

庄内町高校生・大学生議会

～僕らの明日へ、私の主張～

開催日 平成26年12月7日(日)

開催場所 庄内町役場本庁舎 3階 議場

○午前8時45分 高校生・大学生議員へ議員任命書の交付

○午前9時00分 開会 一般質問

高校生、大学生の計12人の議員が町当局に対し質問します。一人の持ち時間は、質問・答弁を含めて10分以内を目安とし、時間内であれば再質問は何回でもできるものとします。

佐藤 維吹^{いぶき} 議員 (庄内総合高校2年)

1. 一般行政について

(1) 遊戯施設等の整備について

庄内町には子どもが遊べる公共施設が少ないのはなぜか。

乳幼児が安全で楽しく遊べる施設や、中学生、高校生が気軽に入れる遊戯施設を町で整備すれば町の活性化になると思うが如何か。

遠田 萌^{はじめ} 議員 (庄内総合高校2年)

1. 一般行政について

(1) 子育て支援について

庄内町の3つの重点プロジェクトの1つに「子供を安心して生み育てられるまちづくり」とあり、具体的な施策は打ってはいるが、目に見える効果はあったのか。

また、実際子供を生み育てている親の声はどう反映しているのか。

さらに、町内に託児所や小児科のある医療機関があれば、子供を安心して生み育てられる町になると思うが、新設(誘致)する考えはないのか。

梅木 錬 議員（庄内総合高校2年）

1. 一般行政について

(1) 観光振興について

現在「余目酒田道路」の整備が進んでいるが、この道路が完成したら、余目の中心地に訪れる人が減少することが懸念される。何か対策は考えているのか。

また、中心市街地にある施設を、もっと大々的にインターネット等を活用しPRすべきと思うが如何か。

金子 冬弥 議員（庄内総合高校2年）

1. 一般行政について

(1) 地域防犯対策について

町内に庄内警察署、狩川駐在所、立谷沢駐在所はあるが、余目駅前などの中心部に交番がないのはなぜか。

阿蘇 紗里亜 議員（庄内総合高校2年）

1. 一般行政について

(1) 世代間交流について

「高齢者のとびっきり元気な町づくり」には、健康な体を作ることが大切である。高齢者や子供も含め、地域の人々が交流を深められるようなイベントを開催することで、活発な町づくりに繋がるのではないか。

例えば、住民やその地域の小学校、幼稚園、庄総生が一緒になって、運動会や駅伝大会、さらに畑での栽培、収穫作業などを行うことで、外で体を動かし、世代間の交流も深められると思うが如何か。

佐藤 洸 議員（庄内総合高校2年）

1. 一般行政について

(1) 庄内総合高校への支援について

庄内総合高校の生徒数が年々減少してきている。現状を変えるために、庄内総合高校生徒の増加対策として、通学する生徒への何かしらの支援は考えられないか。

例えば、電車通学生徒を対象とした通学費助成などはできないか。

高橋 萌^{もえ} 議員（庄内総合高校2年）

1. 一般行政について

(1) 商工振興対策について

余目酒田道路の開通にあたって、庄内町内全体や国道47号の交通量が減り、周辺の商店等の売上も減少することが懸念される。町としてはどう予測し、対策を行っていくのか。

門脇 昂祐^{こうすけ} 議員（東北公益文科大学3年）

1. 一般行政について

(1) 学童保育について

空き家等を利用した学童保育所の設置状況だが、学校から長い距離を歩いて通っている箇所もある。自宅からより更に遠い場所への移動となると、児童の精神負担も無視できないと思うが、このことに関して何かしらの意識調査は行われているのか。

また、何かしらの精神負担の兆候が見られる場合、小学校に隣接する公民館を利用することは可能か。

菊地 あゆ美 議員（東北公益文科大学3年）

1. 一般行政について

(1) 子育て支援について

庄内町は「子育て応援日本一の町づくり」をスローガンに掲げているが、具体的にはどのようなことを行っているのか。また、他の市町村との違いはあるのか。

庄内町では空き家をリフォームし、貸し出しているが、その空き家を子育て支援と関連付けて、シングルマザーやシングルファザーの人たちのためのシェアハウスがあれば良いのではないか。

中澤 智也^{ともや} 議員（東北公益文科大学3年）

1. 一般行政について

(1) 町総合計画について

町民と中学生にアンケート調査を実施したが、高校生をアンケート調査の対象に入れなかったのはなぜか。高校生は今後の庄内町を築き上げていく担い手であり、高校卒業後、地元就職し庄内町に住み続けたいのか、またはUターンで戻ってきたいと思える環境であるのかを知るためにも必要であると考えます。

若者の定住を目指している庄内町であれば、今の状況を知り、良い点を伸ばし、悪い点は直すことが大切である。そこで、自由に発言でき、多くのアイデアが期待できる場として、

若者まちづくりワークショップを提案する。このことは、若者のまちづくりリーダーの育成にも繋がると考える。まちづくりに中学生や高校生が参加することについて、どう考えるか。

小野寺 ^{ゆい}唯 議員（東北公益文科大学3年）

1. 一般行政について

(1) 次世代エネルギーパークについて

再生可能エネルギーの推進と省エネルギーの取り組みを通じて、どのように定住者や観光客を増やしていくのか。

小野寺 ^{たい き}太 樹 議員（東北公益文科大学4年）

1. 一般行政について

(1) 復興支援交流事業について

南三陸町等支援交流事業の実施状況が町ホームページに掲載されているが、今後の交流事業の展開を含め、友好町としてどのような関係を築いていくのか。

また、復興支援だけでなく、「教育」という視点で、若者の人材育成をどのように考えているのか。

○午後0時30分 閉会予定